

## 漢字一文字へ込めた私の中学時代

### 唐丹中学校卒業生の皆様

3月13日は晴れの卒業式に参列させていただき、ありがとうございました。卒業証書と感謝の手紙をご両親に渡し、握手を交わす姿に、深い愛情と感謝、期待、決意…などさまざま感じられ、胸にこみあげるものがありました。皆様の晴れ姿、大変、立派でした。おめでとうございます。

卒業式の漢字一文字に込めた皆さんの思いを、唐丹希望基金 HP・EEC 通信 105 号（4月発行）に掲載させていただきたいと思います。

### ◆三浦 一真



日ごとに暖かさが増し、春めいてきました。

唐丹中学校の卒業式は、皆様でお越し頂き、ありがとうございました。

卒業を一緒に祝って下さり、とても嬉しかったです。そして、今までの震災後からの長いご支援、本当にとっても助かりました。長い間、お世話になりありがとうございました。心より感謝しております。

写真も頂き、ありがとうございます。季節の変わり目、お風邪など召しませぬように、くれぐれもご自愛ください。

**「信」** 僕が選んだ漢字は「信」です。

運動会や部活動をはじめ、どんな時も仲間を信じて最後まであきらめず、励まし合いながら試合をしました。学校での授業中、信頼している友人のおかげで、問題を解決することができました。みんなに感謝しています。

### ◆太田 うらら



この度は、私達の卒業式に出席して下さいありがとうございました。また、たくさんの写真を送って下さり、ありがとうございます。今まで長きに渡り私達にご支援下さり本当に感謝しております。いつか、少しでもこのご恩を返せるよう頑張ります。

中学校3年間を表す漢字一文字は **「挑」** です。私は、運動会での自分の仕事でも応援でも恥ずかしくがらずに挑戦することができました。

また、陸上や駅伝でも、自分の決めた目標を目指してあきらめずに挑戦できました。連合音楽会や文化祭でも様々な準備があって大変でしたが、弱音を吐かずに取り組むことができました。

◆一関 理帆



◆石頭 滯



◆千葉 燿



◆中居林 優斗



◆日野 捺希



◆姫田 幸実



◆武藤圭毅



◆木村 一晟



◆留畑 瑞穂



◆鈴木 萌々夏



## 第7 2回唐丹中学校卒業式で子どもたちと希望を共有しました！

堀 玉江(群馬県前橋市)

3月13日(水曜日)、釜石市立唐丹中学校の卒業式に参列しました。例年になく暖かい日でした。参加者は、地元から代表の高館千枝子さん、東京から右原君江さん、嶋田弥生さん、山川節子さん、群馬から堀泰雄さん、堀玉江の6人でした。卒業式への参列は、2011年に発足した「唐丹希望基金」の重要な活動の一環です。そして今回も伝統ある唐丹中学の卒業式に列席できることの晴れがましさと、卒業する子どもたちの将来への大きな希望を、ひと時でも共有できた喜びに幸せを感じました。

毎年参加していて感じることは、生徒同士の仲の良さです。卒業生12人(男子5、女子7)は、多分小学校入学からずっと同じクラスで学校生活を送ってきて、いつも一緒。学校全体が、家族のように協力し助け合う。「いじめ」などという言葉の入り込むすきはなかったのではないかと思います。

今年の卒業式でも、唐丹中学校教育の良い面を沢山感じました。ひとつは、ステージで卒業生の全員が一人ひとり、自分の3年間を表す文字を記した色紙を掲げて、文字に対する気持を話したことです。12人の「文字」は、「縁」、「友」、「邁」、「進」、「恩」(以上男子)。「声」、「挑」、「先」、「支」、「努」、「勘」、「進」(以上女子)でした。卒業生の説明を聞きながら、私自身も自分の「漢字」を考えていました。「努」の音にひかれて、今なら「怒」かなと。今の日本の政治、社会に対しては、心から「怒」を訴えたいと思いました。しかし中学生に「怒」はふさわしくないとも思いました。彼女の「努」が、将来「怒」にならないことを願いました。

式で感動した2つめは、生徒たちの歌声の美しいことと響きの良さです。3年生の合唱「瞬き」、6分間。すべての人に聞いてもらいたい感動的な詩とメロディ、そして全て暗譜できる力に感嘆しました。在校生の合唱「桜色」、全校合唱「郷愁歌」、そして「唐丹中学校校歌」。校歌だけは、列席の我々も口ずさむことができました。さながら、合唱コンクールでした。こうして11時半に卒業式をやり終えたのですが、主役はもちろん卒業生ですが、在校生も、保護者もそして私達「基金」の参加者にも出番があって中身の濃い「卒業証書授与式」でした。このような感動的な卒業式を工夫し、生徒を指導してきた先生方の熱意と生徒への愛情に、元教員だった私には頭のさがる気持ちで一杯です。来年もぜひ参加したいと思っています。



## 唐丹の海の波静か きびしくもあたたかく（校歌より）

山川 節子（東京都足立区）

卒業生全員の立派に成長した姿と表情に胸打たれました。彼らに初めて会ったのは一昨年の文化祭。2年生で、全校生による虎舞や狂言での演技や合唱での素晴らしいハーモニーは忘れられません。また、3年時の東京への修学旅行で、銀座にある岩手県のアンテナショップで唐丹町の紹介と若布販売があり、応援方々、会いにでかけました。そして卒業の日、更に成長した晴れ姿。

唐丹の子どもたちは幸せだな、と感じました。厳しい状況もあるだろうが、小さな学校で、先生たちに見守られ、全員が知恵と力を出し合いいろいろなものを作り上げていく楽しさを経験したことでしょう。ここで育んだ素直でたくましい心があれば、各々、新しい場で新たな出会いからまたたくさんのことを学ぶでしょう。心より卒業をお祝いし、私も大好きな校歌を参列者全員と一緒に歌いました。

### 平成30年度 第72回釜石市立唐丹中卒業式3月13日

#### ◆嶋田 弥生（東京都杉並区）

今年も卒業式に参加させて頂きありがとうございます。木材を沢山使った素敵な体育館にひびく卒業生の声…3年間を振り返り一文字にこめるその過程が卒業生一人ひとりを大きくさせていると思いました。とても堂々として大きく見えました。たくさんの力を頂いた気がします。私の一文字は何か…考えてしまいました。

また、卒業証書と感謝のメッセージを保護者に渡すときの一人ひとりの表情がまた良かったです。「ありがとう…」とつぶやく声が届いてきました。退席の際に見た体育館に飾られた「10人10色」のスローガンは良いですね。一人ひとりのことの様に思えました。参加できて本当に良かったです。



#### ◆右原 君江（東京都江東区）

日常生活におわれて、唐丹基金の活動にご無沙汰しております。卒業式には参加することが支援活動のひとつと勝手に自分できめて参加しています。今回も唐丹中の歴史と伝承文化に触れることができ良かったです。特に対面式の生徒中心の送辞と答辞は混声合唱として体育館に響き、生徒たちの気持ちが一つになっているので感動しました。また歌詞が卒業式に相応しく心にのこります。特に、年一度みなさんと一緒に校歌が歌うことが楽しみになってきました。3番の歌詞が大好きです。今年も卒業生12名が控室に挨拶にきてくれたので、うれしかったです。堀さんの指揮で「唐丹の海から世界へ」を合唱して良い思い出になりました。

2013年12月のサンタルチアの記念撮影と比べて逞しく成長した姿にびっくり。一人ひとりたくましく「未来の希望の星」となっていますね。唐丹希望基金メンバーの一員として卒業式に参加できたことに感謝です。東北大地震から8年目「忘れない。忘れてはいけない。」唐丹湾の美しい海を眺め、思い深くしました。

[ 東日本大震災 2011・3・11 ] を歌い継ぐ

♪♪♪♪...「鎮魂の歌」を歌おう...♪♪♪♪

作詞 千葉 隆男 作曲 太田代 政男

—参加登録募集(2020年まで)—

登録 Mail-Address : [tchieko@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:tchieko@cocoa.ocn.ne.jp)

登録 50,000 人達成に向かって

[鎮魂の歌登録方法] : <http://eec-2020.com/company.html>

## 【2018 年度 登録者一覧】

**参加者 50,000 人目標！**

参加者 21,237 名  
毎月末に更新予定  
(2019・3・31 現在)

### 3月14日(木) 高木健一(神奈川県大磯)

3月14日、平塚市(神奈川県)の音楽家・岩崎由紀子先生の下での練習生役30名と、当日の鑑賞者10名くらいで「由っこの会」発表会を楽しんできました。日本の名曲ばかりを、一人一人が独唱しましたが、さすがに発声法が自然で素直で、一生懸命な歌唱を披露されました。会場は市内の小さな洋館で、雰囲気も良く、「鎮魂の歌」も全員合唱で、美しく、心のこもった歌声となりました。

### 3月10日(日) 嶋沢 純子(京都アンサンブルコスモス代表)

ついに11日で震災から8年経ちますね。悲しみの中に過ごされた方々の8年！本当に心が痛みます。今日歌声に来て下さった方々と演奏者、23名で心をこめて鎮魂の歌唄いました。登録をお願いします。又来て下さった方のコーラスでも5名が歌いましたとお知らせがありました。

### 3月7日(木)

「ハソウ贈呈」のため、坂口憲一郎さん、キャロル・サックさん、高館千枝子が唐丹中学校を訪問。贈呈式でキャロル・サックさんのハープ演奏「鎮魂の歌」の曲に合わせて坂口憲一郎さんが「ハソウ継承者認定証書」を授与しました。全生徒35名と教職員合わせて55名の登録をします。